



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occ.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「二重国籍」

マルコ福音書冒頭に「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」(一・14)とある。これは主イエスの群集に対する最初のメッセージであり、ついに待望の神の国が主イエスによってもたらされたという宣言である。ダニエル書二章に、「大いなる像」の話がある。頭が純金、胸と腕が銀、腹ともとは青銅、すねは鉄、足の一部は粘土と鉄でできた像の幻をダニエルが見たのである。それぞれの体の部分は歴史的な諸国の興亡を表していて、順番にバビロン、ペルシャ、ギリシャ、ローマを指す。そこに一つの石が人手によらずに切り出されて、その鉄と粘土との足、つまりローマを打った。金、銀、青銅は跡形もなく風に吹き払われてなくなったが、その像を打った石は、大きな山となって全地に満ちた。これはローマの時代に救い主が到来するという予言であり、これが神の国である。主イエス到来の六百年も前の預言である。現在もローマ時代が続いており、ローマ・カトリックが大きな力を持っている。そのダニエルの預言が、主イエスの到来で今ここに実現したというのである。

神の国はいつ来るのかと、パリサイ人が主イエスに尋ねたことがある。そこで主は「神の国は、見られるかたちで来るものではない。また、見よ、ここにある。あそこにあるなどとも言えない。神の国は、実にあなたがただ中にある」(ル七・21)と言われた。神の国がすでに目の前に存在するという意味である。主イエスこそ神の国ご自身であり、その主を信じる者が神の国の住民だといふのである。つまり私たちクリスチャンは二重国籍保持者なのである。地上での市民権だけではなく、ピリピ書に「わたしたちの国籍は天にある」(三・20)と記されているように、私たちは天国の市民権を持っているのである。

マタイ福音書に、主が嵐の中をガリラヤ湖上を渡るといふ奇蹟が記されている。漁師であった弟子たちはそれを幽霊だと思った。そこで恐怖のあまり叫び声を上げたのである。だがその正体が主イエスだと分かった時、ペテロは「水の上を渡ってみもとに行かせてください」と言ったので、主は「おいでなさい」と答えている。ところが歩き出した瞬間、波が彼を襲ったので、おぼれかけたのである。風を見て恐ろしくなったからだ。現実が主を見えなくしてしまつたのである。しかし、確かに現実の主を見えなくさせるが、その波の向こうに、主が居られるというの神の国の事実なのである。その主が支配しておられる神の国に私たちは信仰によって生きている。私たちこそがその住民だからである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

